

日本水成石

大田新長著

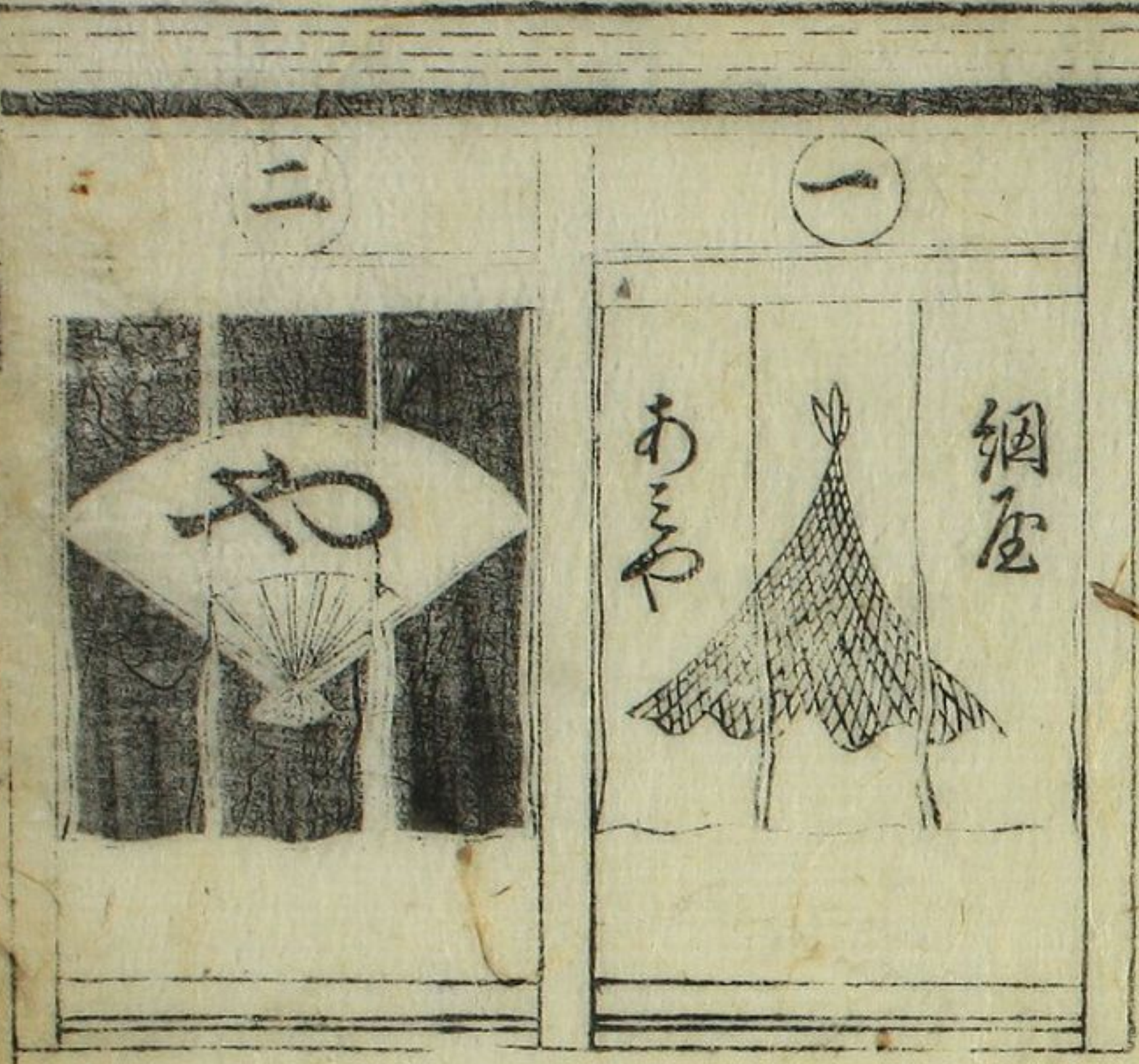
特別
14
3157
39
(1)



14
2157
39
111

日本永代巻

目録



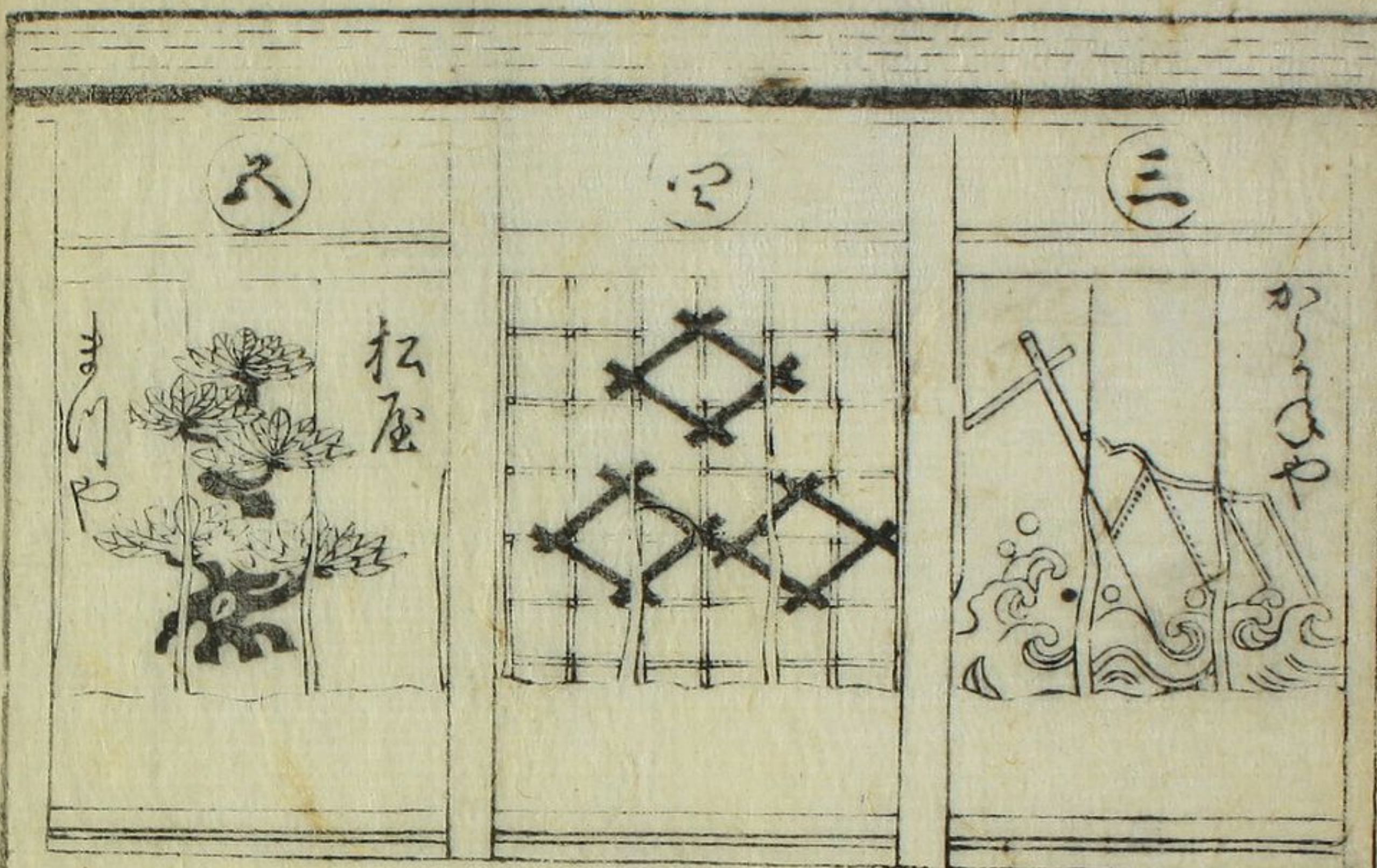
巻一

物年ハ事テ本所仕合

泉列各局寺利其の儀

二代目小破る扇付風

系小かられに始末男
之安指して取札を持子



治風勢小祓通丸

和泉小かられおた高入
小淡小第の祓とまうの女

育ハ掛算今ハ當座祓

江戸小かられおた出カんせ
そ寸正方と高賣の様

世々欲乃入札小仕合

南都小かられおた松屋の祓式
後家ハ女の様とる侍者

本朝永代産出之

物年ハ新くく侍は合

天道言どく回去はあまゆし人の実あけく
 松屋
 魚乃中はまきくしとくおる今乃永代とゆさくは
 人の人よりゆへは常乃人よりあくと一生一人あ
 くるれ東土農之高乃外出家神職よかきくは始
 大の神乃信託宣はゆ色金銀と海なる一毛二粒の
 命乃親あり人る長くこれ朝とあくと程くおる
 夕よおどろく。されハ大地の力揚れ運極光法ハ百代乃
 家深世の愛脱といふ時乃るれ極記とれハ何を金
 石よおとれり。美泉乃用よる立くし強りとつた
 法とくみ孫乃あとはたなりぬびそくはあふよ世

積乃輕い何よ。しに銀漁よく叶いぶ所ゆ夫り下
 むのりもそれより外にたより記。是に海に富実松乃
 らにたやんぬ海乃鬼の指し隠れ笠かくれ叢之暴鳥
 及びまよひのまきに移しいと捨くを乃よそれく
 家職とよげむべし。福治のまに乃堅固よも朝夕油
 乃よりゆりたられ神文世乃仁まと本らなく神伝
 まつる人。是和國の風俗あり。本や一山三月初
 年乃日泉列よまをり。水間寺乃親善よま。婦男女
 奉詣多る。皆信のいあくと歌の乃つまらり。形若海
 根蕨蕨乃麓原紙踏むいま。花の如記片まよ。来く
 此佛よ祈誓むけし。まき分際程よ富々紙紙つり。此淨
 本言れ。あして色種りくよ。返云。あふ。色味記。今
 此婆娑よ。遊ごり。い。我むむま。あ。あ。去民の改。

その所まの田播く婦。機織く物言まの。あ。と
 一切乃く。け。と。と。戸。帳。う。不。あ。る。形。ら。流。言。あ。れ
 是。法。人。乃。早。よ。入。ぶ。所。乃。淡。ま。し。それ。世。の。中。に。備
 置。乃。利。足。程。む。多。海。志。記。物。の。け。し。亦。あ。り。て。可。人。の。り
 残。と。尚。ゆ。あり。當年。ま。儀。あ。り。り。く。來。年。武。武。所
 少。く。と。り。百。名。請。取。武。百。名。ま。く。お。海。の。ぬ。是。親。言
 乃。淡。な。れ。い。の。け。と。と。英。隆。あ。く。と。納。し。て。ま。の。の。と。れ
 く。又。海。三。海。十。残。より。肉。紙。り。多。る。に。宴。よ。年。乃。こ。ら
 九。三。日。乃。男。産。付。ぬ。く。く。ま。う。く。風。俗。傳。ま。よ。あ。る。後
 つ。れ。法。あ。り。の。位。長。町。代。乃。仕。立。志。福。袖。下。せ。り。く。裾。ま
 り。履。く。人。あ。る。は。補。れ。ぬ。と。り。と。量。級。乃。花。を。漂。り。あ。
 同。切。乃。津。祿。と。け。く。上。回。乃。羽。織。は。裾。く。つ。け。る。
 中。脇。指。は。柄。袋。と。め。く。世。る。の。後。い。と。尻。か。げ。ま。く。ま。

下乃山棧乃校は野をへ一畝荒れたる(あ)
 下向とんしつ市賣あよまの備積を費しとる
 よも及乃法師費しつねづお法しくを國を各
 とつし祿をやにば男形ごふれどありお記さ信あ
 つりりく當山開闢しつて終よを費乃積し一
 例の備人は是つてめありけし海流を記るはこれ
 と自念の夫よりとる費用とて信るそ人の怪
 不の武蓋に戸ありく小綱町乃と名し浦人乃系し
 亦同屋しと中乃家系なりと云ふは樹根は
 仕合なり書付水乃乃積と入垂備師乃出記し細
 と信りく百ふつかりるにかりし人自然乃福なる
 とを浦よの信りくせんくりは毎年集りく一年一
 信乃費用小信りの十三年用となりくをを費乃せ小

八千五百拾貳費の元東海乃式通しつつけり
 く市賣しははかきりる信中換り并くこれら
 せんさあのくはと名乃世のつてはなすし
 下りあまの乃表近とまのくは実信と建立る
 市利を形りけ高人内務は常信乃ひりるを右
 の綱をとく武蓋よかられおと名と親乃ゆつり
 けりどそめは是すしつての世に信乃信乃費用
 つしつて是と信乃とつり千費用乃入つて信乃は
 云ぬりけ信乃息りるの信乃親戚樂と信り



六福新長者繪 卷一

二代目子破の庭乃風

人のあまのさしたに梅様松楓をれりし金銀米積り
 庭山よりゆりて庭苑乃御の四季折々乃買進是を
 庭見城乃樂と云ひ極く今乃於は任あぐりて宗乃控
 とひぐりては大吏通りより母波只海へゆりて
 徳山の出家と云ふは徳宗人よを付すとすし乃風宗
 虫後より自業試用ひく登は徳宗大吏よりつとめ
 衆の因成せしとくあひ時あひ垂し小徳と云れは
 支徳紙と云りて地券ありて我ひとり乃封りあり
 多徳灯と云けと申るるありと云ふ事と云り世の賣
 ひとりとせざりてはおとと一生のりち草履乃鼻流と
 踏さしに灯乃のりち小神成けと破と云ふは氣成
 何ともが一代小式を貴目志と云ふと云ふ年八十八歳

世乃人あやりのあまの御孫様はさうと云ふは
 今命は親仁を年乃四歳ふは法要乃を立と云ふは
 下徳丸乃枕よあまの男み一人と云ふは徳成丸なりありて
 廿一歳より申し付し法要なりは世傳親よあまりて始
 末は弟一ありと云ふ事と云ふは親親よ和勢と云ふ事と云ふ
 一歳に七日乃仕揚八月月より新門只成時と云ふは
 下徳丸なるありては徳丸なる成りては徳丸と云ふは
 見舞あまもやりのあまの御孫と云ふは徳丸と云ふは
 明れは五年乃ふを親仁乃祥月と云ふは徳丸と云ふは
 下向よあまの御孫と云ふは徳丸と云ふは徳丸と云ふは
 徳丸と云ふは徳丸と云ふは徳丸と云ふは徳丸と云ふは
 徳丸と云ふは徳丸と云ふは徳丸と云ふは徳丸と云ふは
 徳丸と云ふは徳丸と云ふは徳丸と云ふは徳丸と云ふは

此書は、もりの系、乃作、垣乃り、のり、く、り、は、れ、し、の
 年、切、女、無、米、入、一、の、袋、持、し、行、き、に、封、し、み、通、信、の
 わけ、一、と、丸、く、ま、れ、を、花、川、に、流、し、あ、の、二、三、と、り、と、う、う
 の、記、さ、く、わ、付、め、く、ま、紙、入、く、中、判、お、し、ら、ん、よ、ま
 大、功、や、の、い、こ、ま、め、く、と、ま、紙、う、ご、う、せ、し、は、是、の、書、こ、お
 一、の、ぬ、ま、云、家、筋、乃、流、石、あり、と、ま、れ、し、り、庭、よ、り、人
 一、の、紙、の、れ、の、是、の、橋、系、乃、病、上、向、し、み、こ、二、度、り、の、人
 一、と、換、と、く、ま、術、と、是、を、杖、系、及、故、一、投、乃、う、く、換、系
 一、の、ぬ、り、ご、く、物、志、の、い、ら、に、な、り、よ、ま、ま、お、の、い、り、あ
 一、つ、し、お、し、よ、ま、し、り、と、考、ら、れ、先、付、お、し、く、あ、く、あ、ま、ま、は
 一、件、乃、上、目、し、て、ま、う、女、武、か、つ、ら、ん、と、あ、術、り、と、ま、あ、い、ひ
 一、胸、れ、れ、ら、り、と、ふ、け、の、あ、い、よ、く、ま、術、仕、合、い、と、ま、り、世、及、
 一、さ、い、と、術、り、な、る、れ、と、下、の、の、紙、穿、く、紙、は、あ、り、紙、換

一、つ、小、意、也、情、を、ま、れ、く、か、い、ら、く、ひ、の、書、お、し、と、時
 一、分、か、し、乃、流、ま、な、れ、た、才、小、お、し、く、ま、と、紙、の、れ、ま、く
 一、妻、切、米、と、備、越、つ、り、あ、く、せ、は、山、内、武、女、の、い、り、ま、や、の、流、分
 一、そ、れ、流、り、の、背、合、乃、年、ご、り、り、備、後、と、流、し、り、さ、り、さ、り、
 一、あ、く、く、人、の、い、ま、分、限、あ、意、乃、お、り、く、ま、大、坂、屋、の、野、風、あ
 一、小、西、國、乃、大、片、菊、乃、節、句、仕、意、小、こ、と、一、歩、三、百、と、く、ま、り
 一、色、我、し、つ、一、角、色、入、の、同、し、事、そ、り、の、い、何、の、情、の、こ、へ
 一、こ、を、お、く、く、ま、乃、多、事、換、後、お、ひ、ん、か、さ、り、づ、の、い、ま、く、ま、紙
 一、金、子、と、ひ、ろ、ふ、て、い、わ、れ、り、び、な、意、也、お、そ、紙、の、ま、ま、男、よ、あ、り
 一、さん、と、ま、れ、い、恒、お、と、あ、く、と、ま、れ、た、れ、し、術、系、よ、り、く、花
 一、川、と、ま、る、は、流、さん、と、ま、り、の、髪、乃、そ、く、け、と、他、り、く、高、紙、立
 一、お、し、後、は、一、歩、只、く、と、ま、と、ま、ら、い、ら、い、さ、ん、と、出、く、又、七、夜、也、分
 一、別、く、へ、ま、り、な、り、た、く、色、置、乃、口、お、つ、た、く、と、く、ま、い、ま、ま、い、り

わくまやと三揚屋より酒をとり男よ之をあたはし門の
かへし通ひりまゝとてくらりし流るるもせぬかといひ
は男をゆいせせとわらひいよてとへく流るるく
ぬじくま小托中綱よのめくやうくよ出はし兼屋乃
おとけり過く女御町よ入二又字を乃今度去出掛
を若狭川へ流とり流るるく多きなまやま
く之良と稱く私にぞんじぬもぬ
りか流るるに指さすくもこもわらりこ
くの流るる六尺目よ角とて女御のまこ
えくやうくとりせは流るる程か
流るるに流るるに流るるに流るるに
わくまやと三揚屋より酒をとり男よ之をあたはし門の

女御どのりさ流るる外に流るるに流るるに流るるに
我流るるもわくまと一しは流るるに出し金も切らぬ
良くもむく乃吐の程もくくは流るるの程め揚屋の町
らと兼屋よといひ兼屋を流るるつる二階よりわらり
うり九女乃流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
より女御も流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
酒も流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
子男乃仕舞よと流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
人の流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
く大流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
程も流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと
流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと流るるよと



治風録より林通九

徳大寺のいふ所程とお生に前法つるも小とるけり
 万事乃自由紙見り一可小同お乃佛といふく又外小の
 されどよ世に大者乃知新百武橋万石は六百石より
 秋也本亦入減けり今も永く期定ふくくはつたれと
 九つくすしといつた人小人乃喜い各州世界の廣くを代
 泉引小度のみ産こく金銀もあはれり入出茶ぬせよ
 大船とつりくを名と作通凡く云ふ七百石はさしは
 わりく小國乃海と自立も亦く難波乃入添も八本乃南賣
 といく流布も亦兼へ多向を流るるつたれとも力佃業の
 したゆへそくあしと小濱乃米市は月毎米一乃津あれ
 ばこそ一利乃るに五百貫目乃りその商もあしありそれ
 米の産く小座も減かすも夕乃尾釣れ取月和とん合も云ふ

五所城のん入新らうららのあひ入しく養へん事
 式トとわうそひ人乃山とや一まゝに
 ふ所万ふふ来とと養う事一よあか
 ねさねらり世よ上よ全報乃れや
 恒よ何何のりもと用れりとお定
 一出入りありあり一あか
 ともんととも切に決法とあはれ
 へん心と大福中よ一これ
 一いふ見海一乃百系較の何乃
 乃豊とやつて杖と入乃徳徳山と
 付たくれのたを東と比南乃と一上
 川治よ海ひ一八秋乃柳よ一これ
 らひあひ志の勢虎外作八林と

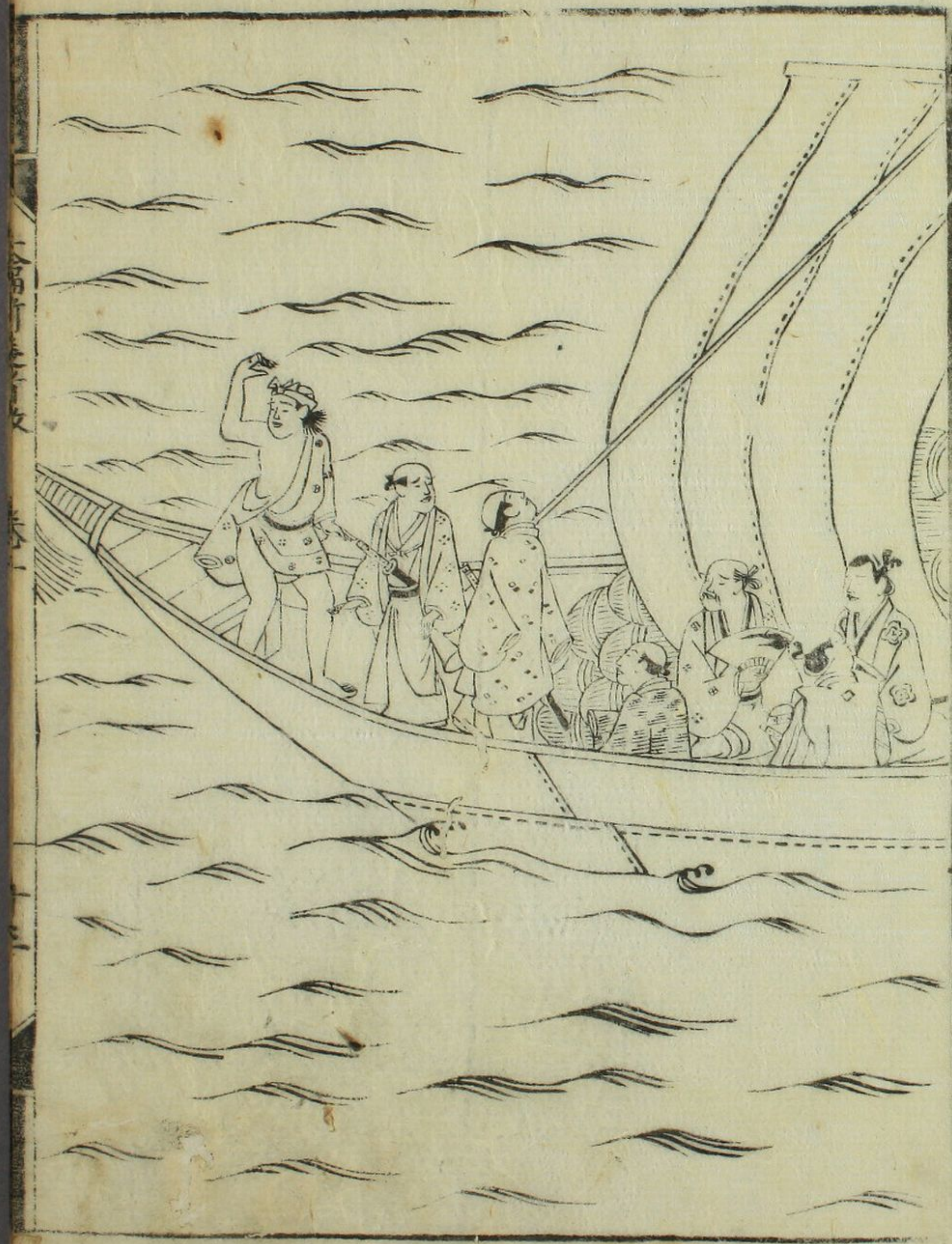
十萬九萬のん入新らうららのあひ入しく養へん事
 さひくまゝのん風暖庵吹く一ぬ
 よ器肥あな木を凍に成肥
 池を成を成前成守和清成城
 を限くく高貴やめく多くと
 乃もさりくと終る人かどと
 といく盡次中清木杖智系履
 の圓和果を立乃拍つくりや
 くどてのら来云よまゝ
 ぶ清うららの豆腐花袖乃小
 三の年とのかのりな定段と
 味は出り同倍と人のやうよ
 舟楫のあはれつこられれば

ちれ行も小垂習ひの川とあり角が髪より振之り袋より
いけ流もわたり乃ち代せんよあり。なるは足よりまよ自
か高城佐掛利流の浦りと扶い親方よか河川肝心
かと持時親傳人よ難言とけをい扶一全振い出あり
をかりたりよ内院堂派と病の高乃の所の所とあ衆人
のかさりね。おのれは性根よ。のく長志ふとあり事
ぞうしあ。く大坂乃ちあ。く人伏つて。く
わくと大く。い音流三ゆ。ありあがり。振持よかり。き時と
えとく。詩。市鞠揚。り。翠。今。節。較。香。去。菜。乃。湯。と。お。れ。川。り
らに。え。く。く。人。付。去。ひ。り。乃。汗。去。と。う。さ。り。ぬ。花
角。く。入。い。わ。く。世。云。家。乃。お。く。子。他。り。花。志。と。賣。よ。一。記
物。あ。と。あ。く。は。是。と。あ。ふ。よ。来。云。い。主。取。が。才。一。乃。仕。合。那。り。い
子。細。い。盤。昌。乃。不。よ。い。く。く。以。水。淡。道。書。町。乃。ほ。り。り。よ。と。と。と

く。乃。く。物。細。く。入。り。く。小。び。職。人。小。色。ら。い。記。才。子。二。人。あり
あ。が。新。屋。天。主。も。屋。を。れ。十。貫。目。入。乃。振。若。不。以。子。よ。我
く。寸。法。い。是。く。く。も。振。つ。わ。に。よ。小。丸。と。物。の。形。一。び。才
み。ち。ら。の。く。あり。く。一。か。ん。き。以。出。く。乃。一。親。方。よ。か。り
と。端。蓋。火。燈。若。乃。仕。垂。是。く。り。外。と。志。く。は。び。え。と。同。ト
お。か。く。大。お。よ。つ。る。れ。お。い。そ。れ。く。乃。高。く。よ。か。り。つ。記。物。と。と
見。及。び。ふ。ひ。ん。あり。と。記。つ。い。の。景。よ。ふ。さ。れ。様。あ。り。一。式。淡
よ。あ。玉。来。あ。揚。乃。折。向。く。と。わ。れ。と。と。ま。か。筒。筋。米。と。記
集。く。と。目。以。書。也。皆。若。女。も。多。く。形。物。つ。つ。あ。れ。は。廿。三。り
ほ。あ。と。あり。一。小。後。丈。と。あ。る。と。く。の。あ。く。ひ。り。り。世。時。と
乃。と。あ。乃。樂。と。記。の。の。一。年。と。あり。一。小。川。乃。記。法。法。五
政。老。乃。世。の。中。と。と。れ。と。八。本。大。分。は。浦。よ。入。舟。登。較。乃。揚
の。あ。かり。差。也。と。り。く。垂。つ。記。く。の。あ。く。決。山。よ。丸。乃。と

持さるる来と藝場よりまにまに集め多付ふ類々よりい
 む術一とて汁とみ汁をもちり多付ふ是より歌の出来
 と結末と一と付ふとや年中ふ七石又汁のりてひを
 くに賣時乃と一と付ふとこのりたる様は毎年のかきこ
 二十餘年の胞くり金指式費六百圓なりぬむはせ
 伴ふに九歳乃付しりあそむとせとく小口儀乃とせ
 とひちひ集とく漢とくとふとせと女替屋同屋と賣せ
 たるに人あひうとく信濃もふけとく我よりかせに
 後より信濃とく之目儀乃小判並度りのり女指是より
 あひ付く今指乃片法は漢とせとく多付ふ田舎人三割
 よひよりく時とくより言とくまそとけれ報子よりひら
 げとく下指と後より小判と大豆板と替秤よひとく
 けしとく毎日くつりく十年とくぬらり中間高乃

うりり小判の徳言小借帳抵くへの付る多く報替
 乃と代とれは綱とのめ積増成と付程はありぬ小判高也
 け男買出せば儀はあり賣出せば忽りさうり口小かまり自
 己男乃只儀親にかくは漢とけとく是れくとPぬ中ふ
 と先祖とさうとくあんそわれめ小指の世法とく高也口
 情れと我と之と付人相れ急ある時よとくあしにて遠感
 一とせと又直云ふとく金指乃威勢とくはつた居
 高乃掛屋あつたさうとく乃直出入のりては心なりの育の
 ろりの出とく入のりては年とあけく家産親とつり
 とく母親乃指とく一筒高掃葉筆子浪固敵の賣とくま
 くとくはた家乃賣物とく乾乃湯とくあつたあつた
 圖とくらり多付ふ今也まにかせのく見るべに雨の天坂の漢
 流れありく報也ゆりとしり



大船長有様



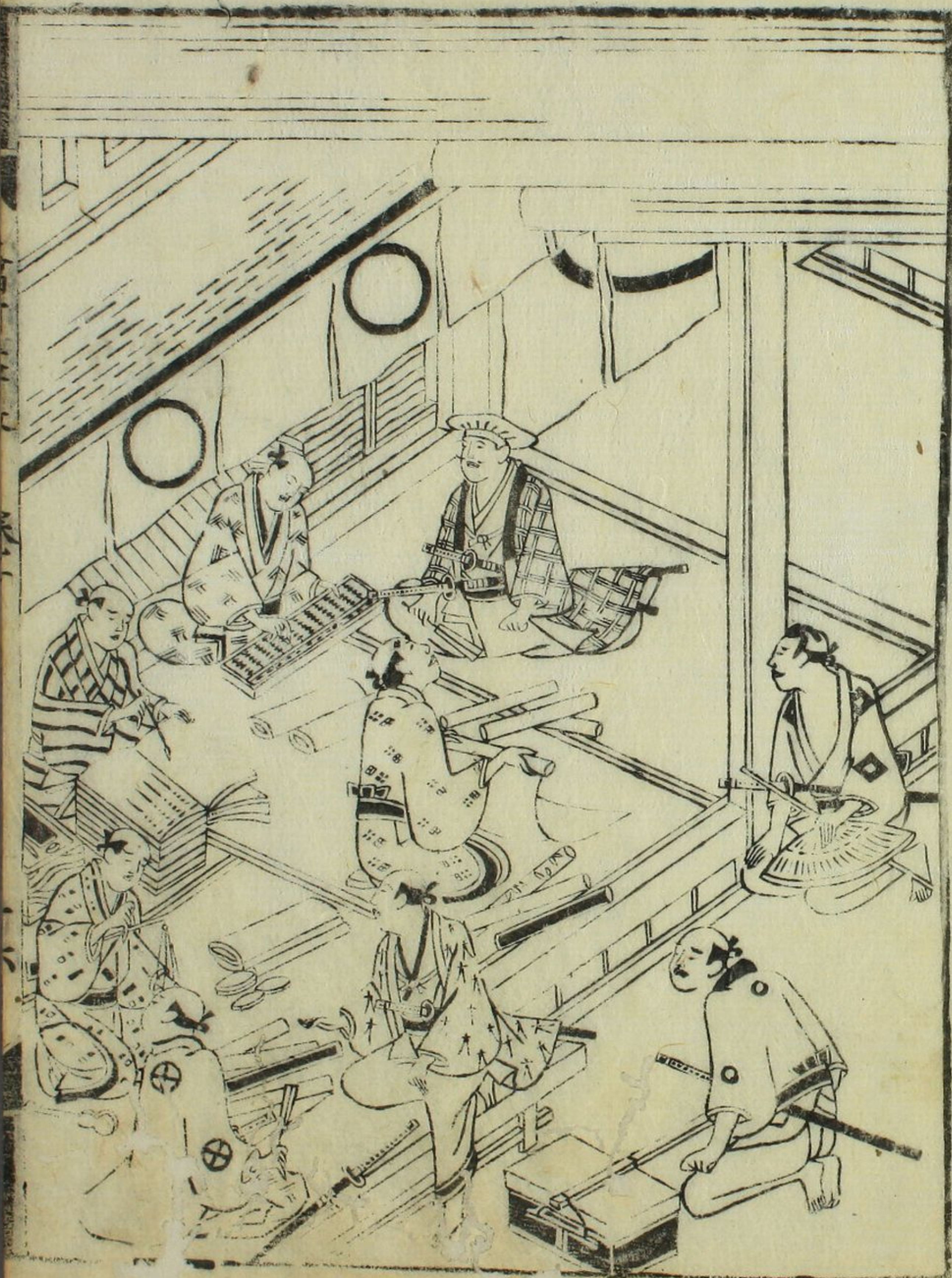
大船長有様 卷一

青瓦掛算今の當座派

古代よりいへば人乃風俗に身套より付く。法事なれば
 漆より花簾と好む。嫁し妻より衣振より上り。お記す
 片身乃様志し。法に加とる。海にさる。あまを人乃。夜夜に
 糸織ね二ま乃。外いなり。さ。球より。黒記物より。定す。月
 て乃。又、お級大君より。と。志く。乃。百人より。お。命。さる。お
 云。す。乃。お。年。小。さ。り。一。さ。給。人。乃。仕。吐。男。女。乃。衣
 類。お。乃。美。と。つ。離。取。よ。多。と。川。一。涼。世。小。級。乃。控
 板。直。取。乃。百。多。漆。お。控。乃。洗。床。子。拍。好。各。列。世。界。より。さ
 り。世。ん。さ。く。女。乃。身。拍。娘。乃。縁。組。より。肉。體。さ。く。あり。く。
 家。業。乃。障。と。あり。人。枝。と。く。と。嫁。奴。乃。平。生。さ。く。と。見
 と。は。い。涼。世。乃。あ。あり。百。氏。乃。美。俾。ハ。去。乃。記。凡。秋。乃。和
 系。凡。婚。礼。振。取。乃。外。ハ。同。之。衣。振。取。と。志。ま。ま。む。さ。む。と。し。む。

お。り。乃。町。堂。町。乃。か。し。賜。し。仕。立。地。屋。乃。新。か。り。り。く。橋。の。暖
 簾。掛。つ。と。く。当。世。志。乃。縁。由。一。と。ら。れ。と。秋。乃。な。利
 あり。く。須。弥。室。小。拍。つ。と。ひ。と。く。と。お。ぐ。夜。掛。山。と。我。宿
 一。乃。乃。中。ど。ろ。一。仕。付。乃。糸。大。製。お。乃。紙。粘。り。一。月。さ
 ぎ。乃。物。置。卯。月。一。日。の。夜。久。と。く。と。に。給。以。縁。け。し。し。と。
 小。白。に。紋。履。乃。の。川。之。一。一。繩。綿。と。中。一。今。之。教。か。と。ひ
 乃。給。支。神。様。一。引。綿。む。り。一。の。お。り。一。さ。り。あり。け。し。と。い
 乃。乃。角。織。と。帶。住。志。と。な。は。な。り。一。お。町。希。乃。衣。振。法
 友。法。國。徳。人。の。力。の。あ。今。さ。ひ。あ。と。り。と。く。と。お。ひ
 乃。高。人。乃。の。に。須。さ。く。所。を。見。く。と。一。紳。お。の。れ。よ。と。い
 一。と。く。と。ん。一。げ。あり。武士。の。綺。履。紙。中。て。つ。と。む。り。乃
 ぎ。ば。く。と。人。之。僕。乃。さ。あ。く。ひ。ま。く。と。風。氣。乃。少。と。お。ひ
 一。の。く。と。を。代。江戸。掃。少。と。松。の。か。り。一。は。乃。給。さ。り。

海へぬまにのりて家着へ毎日金子百入十支迄のり
 一は高貴なるやあり世乃まき實毛ぞうし。い
 多紙見たり。同鼻よ足ありと外乃人よかりし。形
 かく。家職よかりし。大高人乃女中か
 いろは付乃引出。一。度回和棚乃縮密と。み
 取乃時代縮中。持燈乃。織乃。蚊屋人。丸乃。の縮
 河。縮乃。逆。け。朝。比。奈。の。舞。舞。乃。河。達。度。大。際
 乃。義。薄。固。林。和。袴。の。括。次。中。之。糸。小。振。治。乃。刀。袋。何
 よ。う。し。に。な。い。と。い。ふ。物。か。一。美。有。格。め。ぞ。う。し。



世の款乃入札は合

用心志は四の織は角は角に入算いらくす
 りのなり今世乃仲人頼りづくはあはれも
 おくこといふ十費目法計の六費目九るこ
 合一作中く埋呼くまき一内花ふりて
 一交乃高の山換え入のあはれぬりく
 世乃風をともたもあはれ人あはれり
 分添りりるすと花藤よと世とを年乃人
 埋れ何乃らじとまある人いもてさ
 志く信乃を乃板下人下如法並法く
 埋乃板板はらと高れ中そよと信乃
 世乃外中しとらりよとくりじい乃
 とく入を用乃物入かありとく様

とあ乃破滅とはあしり或は又板持
 色乃よ是れ世はあも外算乃生れ付
 ともく人乃目立程あるは合多る
 あひあはれりとは傾城くるい
 とく入乃参れい野神あそびい
 小は男よくとくもるのい
 名ありとく人よはくはれど世の
 とくも移くとくもるたやよ
 物ぞうとつとくもる人不祥
 人十よあひい見ゆり小男あり
 作く親のゆりねとあはれぬ人
 何屋乃推ぬ乃年とく又常供
 付乃小神は金板乃小脇指

此れは世男とてけしとく娘の母親とてふるなり
 それを分ちて衣類ぬれと皆入るよこりてあり
 こ男の袖紙花を小紋と染く若わらひはまこころ
 付乃木綿袴とて居りおしり煙とまきのあき別
 民家乃女の琴のかり小太綿と引体舞れ腰より影の焼
 ちと居りていこころとて小似合ころち居る
 ときかんとし世男袴とて居り皆のり乃世中より可成路行
 奈る極や去日れ里は曝布の買同屋とて居り津入松屋
 乃何とていこありてけしと今の秋思や持金小満とて
 世盛乃八き極家の娘と花とやけとまよひこい言され
 不酒乃かり口結乃とていこも力業花とていこいけか
 況やとていこ天命とていこ年とていこ平まの不養生
 とて死とていこ後集とていこ乃借物とていこいれと

備これ多居人乃力業死後志れぬ物とていこいけはあ今
 年三十八ありて小依りある女持文とていこいけはあ今
 白くうり見よの二十七八人乃ぬめ乃流女房徳とていこ
 く乃縁とていこいこ乃内儀ありて小孫年のま
 とのいれと人のうとていこいけはあ今
 口のうとていこ男持持乃若福帯と細いと好い文とていこ男
 飯とていこ女乃縁とていこいけはあ今
 といとていこ朝乃飯とていこいけはあ今
 乃若とていこ女乃いけはあ今
 ゆりていこ女乃いけはあ今
 今時乃後家とていこいけはあ今
 秋より女乃親類とていこいけはあ今
 乃飯とていこ世とていこいけはあ今



とせむ所かひくとうに居立く家久志に在ひふと且其よ
と内もあふ是とた及び多所かくあらんより外へ其縁
組人乃其あふりあふに後松屋は家とせ乃人の徳
とつろくの後世志くは後色小かあつどむし一の備報流
るに細法とたうとと流あふまのあひり時一生一人の乃
分列出し候と備るれ前中ふ後とつたて戸せば人背
あつれと今九つたと云ふ一人のあひ備報又費用けり
賣は二費用より内あり後家町中よ報にけり後流され
し乃入札ありと賣る所を人よ報回ふつと九と実あり
し乃方へ家流液とあれはらんかた志と報回ふとれと入る
後よ三子扱入と報指式費用流た又費用の備報とふ
七費用流りくは家二家とり分報ふぬ人よ報つらん
まし下女れよ実ありと云ふとく家指とあまり

